

宮城・南三陸の防災林でボランティア キューアンドエー社員ら16人参加

コールセンター運営の「ドエー未来へつなぐ社」キューアンドエー（仙台と名付け、23年から0・3市）の社員とその家族ら16人が6月28日、宮城県南三陸町戸倉の海岸防災林で除草作業などのボランティア活動を行った。

同社は2022年、同町にオペレーションセンターを開設した縁で、沿岸林を再生する宮城県の取り組みに賛同。プロジェクトを「キューアン

この日は参加者がクロマツ林で草取りや木に絡まったつるを切り落とし

た。参加者からは「東日本

大震災で失われた防災林は自然の力だけでは再生できず、人の手が必要であると実感した」「より強い防災林の育成を促すために継続した保育活動が必要だ」といった声が上がった。

同社のプロジェクトは今年10月に宮城県で初めて開催される全国育樹祭の記念行事に認定されている。

